

R5 見守りボランティア活動 事業報告

富山大学教育学部附属小学校 ふたば会

◎実施日：R5 年 5 月 8 日（月）～12 日（金）

◎実施場所：【富山駅バスターミナル】・【総曲輪バス停】・【附属学園前】・【五福新町交差点】の 4 地点

【富山駅バスターミナル】場所：バス停

- 定常的なバスの混み合い（7:35 発・7:45 発）。特に中学生の乗車が困難。（待っていた中学生が 7:55 分発に乗れない日もあった）
- 特に雨天時、バスの遅れ・混み合いにより、先に来るバスに乗車できず 30～40 分程度待機する児童や中学生もいた。
- 特に雨天時、乗車したい児童・中学生が通常より多く、バス停の前が非常に長い列になる。
⇒ほかの通勤・通学者など歩行者の邪魔になり、接触等の恐れも。
- バス車内の前後で混み具合が違う場合がある。
⇒しっかり奥まで詰めることを児童らに周知・徹底する必要あり。
- 車内において混み合っている場所では窮屈さ、圧迫感が感じられる。
⇒バスの急ブレーキなどによる車内での転倒や圧迫の危険がある。
- バス停では整列もしっかりしており、一般の方、低学年を優先した乗車が守られている。
- 空いていればバスに乗りたいが、遅刻を回避するために歩いて通学する児童・生徒も多い様子。
穏やかな気候の時であればいいが、冬の雪道となれば危険も伴う。
（乗車する児童・中学生の数に対してバスのダイヤが追いついていないという見方も）





【総曲輪バス停】場所・バス停

- バス乗車時、ドーミーインホテル側から車道側への移動の際横に広がり、通行者・自転車の通行を妨げる状況が一時的に生まれた。
⇒自転車や通行者との接触の恐れ、通行者への迷惑
- バス到着時にそのバスに乗ろうと歩道を急いで走る児童が見られた。
- 本を開きながら歩行する児童が見られた。
⇒自転車や通行者との接触・衝突の恐れ
- 待機時、児童同士で戯れながら歩道に広がる光景があった。
⇒自転車や通行者との接触の恐れ、通行者への迷惑
- 待機時、目の不自由な方が通行する際、点字ブロックを塞いでしまいそうな場面があった。
⇒白杖を持った方が通行しており、その通行の妨げ、接触による双方の転倒等の恐れがあった。
- 雨天、7時半ごろの待機時、50名程度の児童・生徒が傘をもって並ぶことで、車の出入りのある駐車場の入り口付近までの長い隊列になってしまう。
⇒出入りする車の危険、及び車の妨げ
- 雨天時、7時40分発（県立中央病院からのバス）には満員で乗車できない状況があった。
- 整列もしっかりしており、低学年を優先した乗車が守られている。
- ドーミーインの利用客の車がバス停に駐車し、バスをふさぐ場面があった。





【附属学園前】

① 場所：歩道（セブンイレブン側）

- 信号待ち時、児童が広がりセブンイレブンの駐車場エリアにはみ出す
⇒コンビニ利用の車と干渉の恐れあり
- 信号待ち時、縁石に足をかける、縁石上で頭を屈める
⇒車道走行の車との接触の危険。子どもは頭が重くランドセルも重いため前方に倒れこむ危険性
があり
- 縁石を飛び越えてショートカットしての横断が見られた
⇒車道の車との接触の危険

② 場所：歩道（学園側）

- 徒歩通学の児童が並列で（時には単独でも）、対面からの歩行者や後方からくる自転車（一般・中学生）の通行を妨げている。（雨天時、傘さしだと特に）
⇒自転車との接触事故の危険

③ 場所：渡っていけない幼稚園側の横断歩道

- 使用している
⇒（大学側から進入の）右折車との接触事故の恐れ

④ その他

- コンビニや車道で児童を降ろす場面、多々目撃する。

【五福新町交差点】

① 場所 横断歩道

- 横断歩道歩行時、児童の蛇行や、複数人での並列での歩行により後方からくる自転車（一般・中学生）の通行を妨げている。
⇒自転車との接触事故の危険
- 横断歩道通行時の安全確認不足で（横断報道通行時に信号の点滅により）小走りでの通行。
⇒左折車・右折車との接触事故の恐れ

② 場所 歩道・横断歩道（畑中バス停→富山銀行）

- 8:09 分着バスから降車する児童・生徒が多いため、一時的に歩道が込み合い、歩行者や自転車の通行を妨げる。また、交差点を走って渡る児童も見られる。
⇒自転車や自動車との接触事故の危険

③ その他

- 見守り活動時、児童同士の接触により一方が転倒、擦り傷を負う事案が発症。（父兄の方の付き添いで保健室にて治療）



